



平成23年7月28日

各位

上場会社名 任天堂株式会社
 代表者 取締役社長 岩田 聡
 (コード番号 7974)
 問合せ先責任者 専務取締役 経営統括本部長 森 仁洋
 (TEL 075-662-9600)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月25日に公表しました業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	360,000	20,000	30,000	18,000	140.76
今回修正予想(B)	240,000	△50,000	△55,000	△35,000	△273.70
増減額(B-A)	△120,000	△70,000	△85,000	△53,000	
増減率(%)	△33.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	363,160	54,232	△4,152	△2,011	△15.73

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,100,000	175,000	185,000	110,000	860.19
今回修正予想(B)	900,000	35,000	35,000	20,000	156.40
増減額(B-A)	△200,000	△140,000	△150,000	△90,000	
増減率(%)	△18.2	△80.0	△81.1	△81.8	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	1,014,345	171,076	128,101	77,621	606.99

修正の理由

為替相場が想定を上回る円高で推移していることや、これまでの販売動向、今般決定した「ニンテンドー3DS」ハードウェアの値下げ、年末商戦の見通し等をもとに予想販売数量を見直し、業績予想を変更します。為替の前提レートは1USドル83円を80円に、1ユーロ120円を115円に変更しています。

なお、新たに見直した通期販売予想数量は、本日(平成23年7月28日)公表しました「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の7～8ページをご覧ください。

(ご参考)

「ニンテンドー3DS」ハードウェアの値下げに関しては、本日公表しました「ニンテンドー3DSの値下げに関するお知らせ」をご覧ください。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月25日発表)	—	60.00	—	400.00	460.00
今回修正予想	—	0.00	—	100.00	100.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成23年3月期)	—	140.00	—	310.00	450.00

修正の理由

当社は、会社の成長に必要な研究開発や設備投資等を内部留保資金でまかなうことを原則とし、将来の経営環境への対応や厳しい競争に勝ち抜くため、財務面での健全性を維持しつつ、株主の皆様への直接的な利益還元については、各期の利益水準を勘案した配当により実施することを基本方針としています。

この基本方針に基づき、第2四半期末の配当金については、第2四半期累計期間の連結営業利益の33%を第2四半期末の配当金総額の基準とし、この時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の10円未満を切り上げた金額を1株当たり第2四半期末配当金として決定しています。

年間配当金については、連結営業利益の33%を配当金総額の基準とし、期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の10円未満を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向50%を基準として10円未満を切り上げた金額の、いずれか高い方を1株当たり年間配当金として決定しています。

平成24年3月期は連結業績予想の修正の通りになりますと、誠に遺憾ではありますが、第2四半期末は無配、期末及び年間配当金は1株当たり100円となる予定です。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

なお、「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり当期純利益」の予想数値の算出に使用した発行済株式数は、現在予想される期中平均株式数です。

以上